

令和4年(2022年)度 地域連携活動報告書

連携先名称：中野市農業協同組合・日本きのこマイスター協会

協定締結日：令和4年3月11日

活動状況：継続中

連携先窓口：中野市農業協同組合 営農部 営農支援課 湯本幸孝 様

一般社団法人 日本きのこマイスター協会 理事長 前澤憲雄 様

活動資金：アイテムを選択してください。

担当教員(所属)：本間裕人(醸造科学科)

活動体制(単位)：アイテムを選択してください。

関連教員(所属)：徳岡昌文(醸造科学科) 内野昌孝(分子微生物学科)

志波優(分子微生物学科) 金田憲和(食料環境経済学科)

大西章博(醸造科学科) 後藤逸男(総研)

活動目的：きのこ産産を軸とした地方創生事業、研究開発事業、人材育成事業、および普及啓発活動に取り組む。

活動内容・成果：

1. 活動プラットフォームの策定

2022年4月26日、オンラインにて打ち合わせ：参加人数3名(農大教員1名、JA中野市1名、日本きのこマイスター協会1名)

2023年1月24日、オンラインにて打ち合わせ：参加人数6名(農大教員1名、JA中野市4名、日本きのこマイスター協会1名)

2. 包括連携協定締結記念事業

2022年5月13日、学長による記念講演：中野市中央公民館：参加人数約30名(オンライン含む)

3. きのこ使用済み培地の有効利用法の模索と、現状の農地還元に伴う諸問題の解決」ワーキンググループ

2023年2月9日、オンラインにて打ち合わせ：参加人数7名(農大教員3名、JA中野市3名、日本きのこマイスター協会1名)

4. エノキタケ高付加価値化商品開発のための研究参加

JA中野市が主導するきのこ機能性加工食品開発研究会に本学から本間裕人が参画し、エノキタケ由来天然GABA配合機能性加工食品の開発に携わった。

課題・改善点：

計画の策定や打ち合わせに時間をかけすぎてしまい具体的な活動にほとんど踏み込めなかったため、来年度以降実行できるように計画を進めたい。